



やさしいところ (思いやり Caring)  
 正直なところ (誠実さ Honesty)  
 がんばるところ (責任感 Responsibility)  
 大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2018年2月1日  
 幼保連携型認定こども園  
 YMCA 保育園

## 2月えんだより

2月の聖句： 「愛は、すべてを完成させるきずなです。」

コロサイの信徒への手紙 3章 14節

厳寒の日々が続きます。感染症の流行る時期でもありますので、体調を整えて春を迎えましょう。子ども達は、春が近づきますといよいよクラスが変わっていきます。特に幼児クラスの子供達は、年中、年長なることが、そしてゆり組のお友だちは、小学校に行く喜びが徐々に沸いてくることでしょう。

新しい環境になりますと、すぐにうちとけられない場合があります。「話しても大丈夫かな?」「このままで分かってくれるかな?」等と心の深いところで揺れ動くものです。「信頼できる人だ…」と感じることができたら、少しずつ心を開きながらつながっていき、自分の弱さや、隠しておきたい事も出てきます。これを「絆」と呼んだりします。絆は元来、動物等をつないでおく紐のことで、人とつないでおくリードは元々絆なのです。この「絆」とは「愛」のことでしょうか? 難しい問いですね。

今月の聖句にも「愛」という言葉があります。聖書では「愛」は私たち人間には無いといわれます。人間の「愛」は情であり、執着のように自分に引き寄せるように働くもので、自分を捨てることができず、神様の愛だけが「すべてを完成させる愛」であるというのです。それは、自分に引きよせることなく、「すべて」のために働くものなのです。イエスが、行いによって人々に示したように、私たちは、この見えない「愛」を、人を通して、大人や親の交わりを通して感じ合いながら育ちあっていくのです。

つまり、生まれてきた存在そのものが、神様の愛であり、愛すべきもの、愛されるべきものであり、全てを信じて受け入れていくことこそが、私達大人のすべきことなのです。

キリスト教保育は、子ども達が、「イエス・キリストの十字架の愛を着るように」支えていく働きです。神様に愛されて命を与えられ、この世に必要とされて生まれてきた子どもたちは、神様が愛で包んで、自分のためではなく、人のために生きるようにしていただきます。子ども達が、毎日神様の言葉を聞いて、祈る中で、キリストの愛を着る存在とされていきます。子ども達を矯正することはできません。又してはいけません。神様の愛が子どもたちを育む力なのです。私たち大人も子ども達が、神の愛に包まれ、育まれるように心より祈り、支えていきたいと思えます。

2月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	いっしょに	力あわせて
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>*知っている言葉を使って、思いを伝えようとする。</li> <li>*友だちや保育者と一緒にいることを喜ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*寒さの中でも守られている命を知る。</li> <li>*お互いの違いを認めつつ、助け合うことに喜びを感じる。</li> <li>*友だちと伝え合ったり、話し合ったりしながら遊びを作り出す。</li> </ul>
讃美歌	つくしのように 幼児讃美歌 58	やさしい目が / 球根の中には こども改 114 / 135